

## 福島 八枝子 氏 学位審査結果の要旨

主査：中邨 智之

副査：伊藤 誠二、塩島 一朗

骨格筋量の減少はインスリン抵抗性の要因とされているが、その機序の1つとしてマイオカインと総称される生理活性物質の関与が考えられている。本研究では、マイオカインのひとつイリシン *irisin* とメタボリックパラメーターの相関を未治療肥満患者66名について調べた。単相関で血清イリシン濃度と有意な相関を認めた項目を用いて重回帰分析を行ったところ、インスリン抵抗性の指標である **HOMA-IR** が血清イリシン濃度と正の相関のある独立変数として抽出された。健常人では血清イリシン濃度と **HOMA-IR** が負の相関があるという報告があるが、肥満者においてはその相関が逆転することが明らかとなった。本研究は、インスリン抵抗性におけるマイオカインの関与について新たな知見をもたらすものであり、学位に値する。